

環境省・オフセット・クレジット（J-VER）制度認証委員会
（事務局：気候変動対策認証センター）御中

平成24年4月17日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名						
諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクト						
GHG 検証機関						
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。						
機関名	SGS ジャパン株式会社					
担当部署名	認証サービス事業部 森林認証部					
責任者名	今泉 俊一					
責任者 E-mail	shunichi-imaizumi@sgs.com					
責任者電話番号	045-330-5047					
審査員名 ¹	今泉 俊一/主任検証員（チームリーダー） 佐々木 聡子/主任検証員（レビューアー）					
機関要件への合致	暫定的な妥当性確認・検証機関としての要件を満たし、暫定妥当性確認・検証機関としての登録を受けています。					
検証報告書発行日	2012年4月17日					
検証結果						
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット（J-VER）制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.2.1					
検証期間	2012年3月1日～2012年4月17日					
現地審査	期間	2012年3月7日				
	審査内容	プロジェクト対象のモニタリングプロット及びモニタリングエリアをサンプリングにて訪問し、プロジェクト計画書及びモニタリング報告書に記述された森林及びプロジェクトの状況から乖離がないかについて確認した。現地審査時には担当者へのインタビュー、モニタリング手順及び測定機器キャリブレーションのデモンストレーションも実施し、構築されたモニタリング体制に変更がなく、組織の実態に即しており、適切に実行されているかについて確認した。				
排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011（11カ月間分）	2012
	t-CO2	—	—	—	814	—

<p>検証結果の要約</p>	<p>諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクトに対し、モニタリング報告書中の 2011 年 4 月 1 日から 2012 年 2 月 29 日までの期間（11 カ月間）の吸収量情報について、合意された検証範囲、目的及び基準に基づき、合理的保証を付与する水準にて検証を実施した。その結果、モニタリング報告書に記載された吸収量情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則、環境省 モニタリング方法ガイドライン（森林管理プロジェクト用） Ver.4.1、方法論（R001）に基づいて作成されており、全ての重要な点に関し、適正であると認める。</p> <p>2011 年 4 月 1 日から 2012 年 2 月 29 日までの期間（11 カ月間）の当プロジェクトの吸収量総計は、814t-CO₂であることを確認した。</p> <p>本検証意見は、別添のモニタリング報告書に基づくものとして解釈されなければならない。</p>
----------------	---